

令和7年度 学校だより

柏崎市立鯨波小学校



くじらなみ

(TEL) 22-2389

(FAX) 20-1766

令和8年3月5日発行

HP <https://www.kenet.ed.jp/kujira/>

No.12

## 鯨は 愛の土地の名だ

校長 姥貝 栄次

2月21日(土)に「閉校式典」を行いました。多くの来賓の皆様、地域の皆様、旧職員の皆様と共に、鯨波小学校152年の歴史を思い起こしながら、子どもたちの輝かしい未来を願う式典となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

【閉校式典での校長挨拶から】

明治7年2月に開校して以来、当校には152年の歳月が流れ、3,600名を超える卒業生を送り出してきました。

「陽(ひ)が輝くよ朝雲の」で始まる校歌は、昭和28年に保坂弘司様作詞、芥川也寸志様作曲でつくられ、歌い継がれてきました。私も鯨波小学校在籍の計10年間歌い、親しんできました。3番の「鯨は愛の土地の名だ」に地域の皆様の深い愛情が込められていることを感じ、大好きな曲です。この校歌にもあるように、米山や日本海などの自然に囲まれたこの地において、様々な教育活動が行われてきました。

(中略) 現在も地域と共にある学校づくりが日本全国で進められておりますが、鯨波小学校は、全国に先駆け、152年前から、まさに地域と共にある学校であったのだと実感しています。私個人といたしましても鯨波小学校に10年も勤務でき、豊かな自然の中で、素敵な子どもたちと関わり、温かい保護者・地域の皆様に支えていただいたことに感謝しています。

今年度末で閉校を迎えることとなりますが、子どもたちが歴史と伝統を感じ取り、柏崎市立西小学校への希望をもてるような教育活動を、残りの1か月も進めてまいります。

真っ直ぐな気持ちで何事にも全力で取り組む子ども、その子どもをサポートしてくださる保護者・地域の皆様、この姿は脈々と引き継がれてきました。昔も今も子どもは地域に育てていただきました。これからも子どもたちは頑張ります。保護者・地域の皆様、これからも全力でのサポートをお願いいたします。

子どもたちが、健やかに、たくましく育つことを心より願い、挨拶いたします。

多くの皆様の思い出が詰まった鯨波小学校。いつの時代も子どもたちの笑顔があふれ、元気にグラウンドを駆け回る姿が見られたことでしょうか。そのころを思い出すと子ども時代の自分に戻ったような気になるのではないのでしょうか。ぜひ、鯨波小学校の思い出を「鯨波小学校ではね・・・」とこれからも皆様で語り継いでいただければと思います。



## 閉校式典ありがとうございました

鯨波小学校閉校式典には、多くの保護者、地域の皆様からご来校いただきました。地域に支えられ、愛される学校であると、改めて感じる式典となりました。ありがとうございました。



式辞 近藤教育長



祝辞 櫻井市長



祝辞 佐藤市議会副議長



旧職員代表 阿部 松夫 様



学校長挨拶 姥貝校長



ほぼ満席です



子どもたちは、100人を超えるお客様を前に少し緊張はしていましたが、鯨波小学校、そして地域の皆様へのありがとうの言葉を堂々と伝えることができました。



記念碑の除幕式は、6年生の3人にも綱を引いてもらいました。暖かな春の陽ざしの中、閉校式典及び除幕式ができました。

昨年度から会議を重ね、ご準備いただきました閉校準備委員の皆様にも感謝申し上げます。